

今日のみ言葉 284 「暗闇に住む民を大きな光を」

2018.12.10

暗闇に住む民は大いなる光を見、

死の陰の地に住む者に 光が射し込んだ。(マタイ4の16)

The people who live in darkness will see a great light.

On those who live in the dark land of death

the light will shine.

これは、キリストが誕生するより、はるか700年ほど昔に、預言者イザヤが神からの啓示を受けて語った言葉として聖書に記されている。

大いなる光を見たい、これは人間の深い願いであり、魂の要求である。

この世は、病気や死、そして人間同士の争い、憎み、ねたみ、不正…等々で満ちている。それは、人間一人一人の心のなかにその縮図があり、それが拡大してそうした人間社会の問題となっている。

本当の光が見えない—それゆえに、さまよい、闇のなかを歩くことになり、同じく闇を歩く人間と衝突する。

また、私たちはすべて、死の陰の谷を歩んでいるということができる。その行く手には、必ず死があるから。

それゆえに、死という無限の闇のなかに光を求めるのは本能でもある。

動物には、こうした願いや欲求、さまよう心などはまったくない。未来のことも過去、現在

のことについて心配するなどということがないからである。

光はどこにあるのかーそれを求めてあらゆる思想や哲学、芸術、そして学問なども探求している。

しかし、見つからない。青い鳥の物語にあるように、青い鳥ー本当の光を求めてどこまでも探求し続け、山の彼方のへと旅を続けてもーあらゆる可能なことをしつづけてもなお見つからない。涙をもって帰って来た。しかし、幸いはすぐ近くにあるのを知ったという。

しかし、神に由来する光を知らないならば、本当の幸い、光は、すぐ近くにあるとは到底言えない。

近くには、光とは逆の闇と混乱、また愛なき人間関係があって、逃げ出したいというような気持ちになる人々は何万といういる。それはみずから命を断つ人たちがそのように多く、世界でも有数の自殺大国となっていることからもうかがえる。

だが、本当の光、それはたしかにすぐ近くにある。愛の神は、どこにでもいてくださるからであり、その神を知らされたときに、本当の光を感じる。私自身、かつては 死の陰の谷を歩いていたという感じが思い起こされる。そこにまぎれもなく、大いなる光、命の光が射してきたゆえに、そのことがこの世に生きる時最も大切なことだと確信するに至ったのだった。

そして、その光はときに雲がかかり、あるいは見えなくなるように思われることもあるが、ときが過ぎると、きっとその光を再び表してくるような光、永遠の光なのである。

この光こそは、どんな罪深い人間も、また若者や死に至ろうとする重病人も、重い障がいをもった人も、またいっさいの民族や国籍にかかわらず、心から求めるだけで与えられるというのが、聖書が語り続けていることであり、じっさいそうだからこそ、全世界にこの光なるキ

リストのことが伝えられるに至っている。

そして今もその光は、闇の世に輝き続けている。

野草と樹木たち コバイケイソウ 秋田駒ヶ岳 2018.7.20



この花は、
高さが1メートルほどにもなって花の咲く時期には、離れたところからも目につく花であり、高山ではよく見かける花です。

私はかつて福島県の吾妻連峰の高

山にある大きな池を取り巻くように、何年に一度というほどの、この花の大群落があったのを今も思い出します。

それは、真っ白い花が手をあげて、神を賛美しているような姿と周囲の湖のような広い水面と調和していたのです。

この写真は、それと対照的に、緑の満ちあふれる東北の高山にあって、ほとんど見る人もない場所にあってその清楚で美しい姿を見せていました。

秋田駒ヶ岳自体は、高山植物のとくに豊かな山で多くの人々が訪れますが、この花を撮影した地域は、道の一部崩壊のために、下山危険箇所となっている道の途中であったため、ほとんどの人は訪れない静かな道だったのです。

人の声や姿もなく、ただ神の直接に創造された白い花が神を賛美している—という光景に、しばしたらずんでその姿と声なき声に耳を傾けました。

こうした高山の植物は、たしかに、この世の闇とは無縁の神の国の光を感じさせるものです。

人間が植えたのでもなく、人間の考えで美しくしようとしたのでもなく、また人間なら美しく着飾って

人に見てもらおうとするけれども、そうした気配はみじんもなく、ただ、大自然のなかで、静寂のなかでその清さと美とを注ぎだしていたのです。

人間の世界は、昔からどこまでいっても罪深いもの、しかし、こうした自然は、罪なき世界—神の国を指し示しています。(写真、文ともに T.YOSHIMURA)